

# 尾張旭市建築物耐震改修促進計画（改定版）【概要】

## 1 見直しの背景

- ・現行計画の策定から5年が経過し、計画で掲げた目標の達成状況及び進捗状況を確認
- ・国の基本方針の改正や県計画の改訂の動向を踏まえ、国、県との整合を図りつつ、建築物の耐震化を一層推進するため、本計画の中間見直しを実施

## 2 国・県の動向

- (1) 国
- ・住宅の耐震化率は平成 15（2003）年から 5 年毎に 3～5%の伸び率で進捗しているものの、令和 12（2030）年までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消の目標達成は難しい状況。
  - ・令和 17（2035）年までに耐震性が不十分なものを概ね解消として「耐震改修促進法に基づく基本方針」の見直し
- (2) 愛知県
- ・国同様、令和 12（2030）年までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消の目標達成は難しい状況
  - ・目標年次を令和 17（2035）年度として、耐震性が不十分な建築物等のおおむね解消を目標とした「愛知県建築物耐震改修促進計画（あいち建築減災プラン 2035）」を策定

## 3 市の方針

- ・国や県同様、令和 12（2030）年までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消の目標達成は難しい状況であるため、計画期間及び目標年次について見直し、引き続き耐震化・減災化に向けて、耐震化の促進を目指します。

- (1) 計画期間
- 【現行】令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの 10 年間
- 【見直し】令和 3（2021）年度から令和 17（2035）年度までの 15 年間
- (2) 耐震化率の目標年次
- 【現行】（中間目標）令和 7（2025）年度までに 95%  
（最終目標）令和 12（2030）年度までに概ね解消
- 【見直し】（中間目標）令和 12（2030）年度までに 95%  
（最終目標）令和 17（2035）年度までに概ね解消

現行	計画期間	令和 3（2021）年度～令和 12（2030）年度（10 年間）		
	年度	令和 3（2021）年度	令和 7（2025）年度	令和 12（2030）年度
耐震化率		現状 83%	中間目標 95%	最終目標 概ね解消

見直し	計画期間	令和 3（2021）年度～令和 17（2035）年度（15 年間）			
	年度	令和 3（2021）年度	令和 7（2025）年度	令和 12（2030）年度	令和 17（2035）年度
耐震化率		当初 83%	現状 87%	中間目標 95%	最終目標 概ね解消

## 4 実現に向けた方策

